

正誤表

99 頁の問 2 の回答（180 頁）は「a」となっていますが、正しくは「e」でした。

現表記 問 90 頁 回答 180 頁	問 2. 肺動脈狭窄に関する記載のうち、正しいのはどれか. a. 右房圧は正常か, 重度の場合は低下する. b. 収縮期右心室圧は低下し, 収縮期肺動脈圧は上昇する. c. 肺動脈逆流を伴うことが多いので, その場合は収縮期逆流性雑音も聴取される. d. 肺動脈に血流が流れにくいので, 主肺動脈は細くなる. e. よく認められる臨床徴候は失神や突然死である. (回答) 問 2 : a 右房圧は重度で上昇. b の記載は逆. c は収縮期逆流性ではなく拡張期性雑音. 主病変の心雑音は収縮期駆出性雑音. 主肺動脈は狭窄後部拡張.
回答の訂正	(回答) 問 2 : e a : 右房圧は重度で上昇. b : 記載は逆. c : 肺動脈逆流の心雑音は収縮期逆流性雑音ではなく拡張期性雑音. d : 主肺動脈は狭窄後部拡張を生じていることが多い.